



DAWに対応したセッティングを
動画で確認できます。

Pro Tools Ultimate, Logic Pro X, Reaper,
Cubase Pro, その他



重要!

トラブルシューティング

トランスコーダーとデコーダーのプラグインには、シグナル・チェーンをチェックし問題がある場合には知らせる「Smart Troubleshooting」機能が備わっています。

エラー表示例: 出力チャンネルが不足している場合

(ERR3) Your track doesn't have enough Output channels.
Make sure you make it wider or "Decode" to less channels.

対応

Soyuzのプラグインは、Soyuz 013 Ambisonicにのみ
対応するようデザインされています。

プラグインのフォーマットは VST3/AU/AAX で、マルチトラック
録音/再生が可能なほぼ全てのDAWに対応しています。

Happy recording!

問題が発生した場合は、サポートまでお問い合わせください。



マイクของผู้登録が完了すると、
ダウンロード用コードを受け取れます。



013 Ambisonic

日本語マニュアル



マイクのユーザー登録が
完了すると、ダウンロード用
コードを受け取れます。

ケーブルのカラー

013 Ambisonicにはカプセルが4つあり、各方向の音声を収録します。カプセルとケーブルが一致するよう、ケーブルに色を付けました。



プリアンプのレベル・マッチング

各カプセル(ケーブル)を接続したプリアンプの、入力ゲインが全て同じであるよう設定してください。マイク間の不一致を解消し、より正確なサウンドがレコーディングできます。



設置方向の目印

マイクの中心にあるドットが、正面の目印です。この目印を、メインで狙う音源の方向に向けてください。この目印が重要な理由は、以下の通りです。

- ガイド: 音源に向かって正しく設置することで、各マイクが実際に聞いているサウンドと同じように収録します。
- ポスト・プロダクション用のリファレンス: 後からDAW上で処理する際の指標となります。

収録時のメモ



後で処理を行う際、正確に収録した状況を把握するため、設置場所や方向のメモや写真を取っておくことをオススメいたします。

Transcoder

重要! プラグイン・チェーン冒頭に挿入

Soyuz 013 Ambisonic Transcoder (トランスコーダー) プラグインを使用して、RAWオーディオ (A-Format) からAmbisonic B-Formatに変換します。

プラグインを立ち上げると、最も一般的なセッティングがデフォルトとして表示されます。方向の設定などが、実際に録音した状況と合っているか確認してください。

■ QUALITY (クオリティー) モード

デフォルトの設定 (推奨)。
013Aカプセルに適したトランスコードが行われます。ミックスやレンダリングの際、最上級のクオリティーが得られるモードです。

■ MONITOR (モニター) モード

ゼロ・レイテンシーの、低CPU駆動のトランスコード。レコーディング中のリアルタイム・モニタリングでは、このモードを使用してください。ミックスやレンダリングでは使用しないでください。

- **AMBIX**: スタンダードなフォーマット (推奨)。
- **FUMA**: オプションとして選択可能。



Orientation (設置方向)

Transcoderプラグインの中には、マイクの設置方向を示すアイコンがあります。

- 収録時に設定したマイクの方向と、アイコンの設定を合わせてください。



目印が正面に来る、一般的な縦置き



目印が地面に向いている状態



マイクの上下が逆さの状態

Decoder

重要! プラグイン・チェーン最後に挿入

The 013 Ambisonic Decoder (デコーダー) は、013 Ambisonic で収録したAmbisonic (B-format) 信号をコントロール、変換、デコードするプラグインです。

このデコーダーを使用する事で、細かい調整の必要なく、簡単にAmbisonicオーディオをコントロールできます。



Rotation (回転)

自分の頭を回転させた時のように、サウンド・フィールドの位置を変化させます。

Y YAW (左右)、X PITCH (上下)、Z ROLL (傾き) の3つの要素をコントロールできます。オーディオを再生すると、サウンドがどこに鳴っているか視覚的にも確認できます。

Decoder (デコーダー) 出力

スピーカーの環境に応じて、出力を設定できます。2ch ステレオから、最大9.1.6まで選択できます。(使用するDAWによって設定できる内容は変わります) スピーカーのポジションによって方角、高さが調整できるようになっており、各チャンネルにはハイパス・フィルター、ゲイン、LFEルーティングの設定が備わっています。

Dominance (マスター定位)

このセクションで、サウンド全体の位置をコントロールします。パンを強制的に左右、前後、上下に移動する感覚です。